



埼玉県 / 根岸 翼 (32歳)



社外エアロもオバフェンは多い。ゆえに、純正バンパー×オバフェンというスタイルでDUP。とはいえ、単なる純正バンパーではなく、わざわざFRPで型を抜き、短縮加工やモールレス化しており、費用は社外エアロを買った方が断然安い。低車高も自慢で、メンバーを上げ、燃料タンクを移設し、配線も室内に引き直した。車高調&アームはTディメで構築。この低車高もそう簡単には真似できない。

こ のイベントで、僕的に大収穫だったのが、埼玉県の根岸兄弟と出会えたこと。兄ちゃんは18マジエスタ、弟は30セルシオに乗っているんですけど、彼らは人とは違うセンスを持っていて、2人ともめちゃめちゃ情熱的で、ホンマ、会えて良かったなって思いました。2台共、弟がプロデュースしている、「シンプル仕様」がドレスアップのテーマ。バンパーはモールレスにして、さらに、ドアパネも消去しているのがポイント。

こういうスタイルに挑戦しているクルマって、全くないってわけじゃないんだけど、いても違和感があるというか、のっぺりした印象のクルマが多いんですよ。

でも、この2台はそうじゃない。言葉で表現するのが難しいんだけど、ヌルっとした感じで、それが新しいのがポイント。



この日のためにタイヤ&足まわりの点検をしてきたが、道中にバースト。フェンダーが……。しかし、大きな事故にはならなかったのが、何よりだ。

しさに繋がって、「めっちゃめちゃええやん！」って思いました。「モールとドアパネを埋めるっていうのが、一番勇気が必要だった箇所です。大丈夫かなって。完成した今は一番の自慢点なんですけど、そこを大林サンに褒めて貰えて凄く嬉しいです」と根岸兄弟。なぜ、のっぺりせずに、カッコ良

「驚くほど美しい当時風仕様の14マジエスタ」



埼玉県 / 根岸 涼 (28歳)

なっているのか。それはバランスが優れているからなんです。オーバードライヴ、車高、バンパーの丈、それらが絶妙に合わさっているから、不自然さが無い。

あと、僕がいいなって思ったのは、2台共、ハンドルが全切りできること。僕のオーナー時代は当たり前のこと、そうじゃないと認められなかった。でも今は……。だけど、



自作とは思えない高完成度。モール&ドアパネを消去して、究極のシンプル仕様に。のっぺり感が皆無の理由は全体のバランスが優れているからで、エアロの短縮やオバフェンの出幅などが秀逸。ちなみに、エアロはナンバー上とリップの2箇所を短縮して整えたそう。大林サンはハンドルが全切りできる点も絶賛。「本当に走れるの!?」って思わせる。この低さでちゃんとハンドルが切れるっていうのが偉いです。



K.BREAK Kazuki Ohbayashi 大林 一樹

「ちょっと真面目な話。どんなにメンテしても、事故する時はする。だから、道中はスピードの出過ぎに、必ず注意してくださいね。」

ちなみに、弟の本業は大工さんで、クルマ製作は趣味でやっているそう。板金屋さんに聞きつつ、独学で技術を身につけたらしい。今回はしょっくん(スバークフライン)とよっち(水野ボデイワークス)の3人で一緒に見て歩いたんですけど、2人ともフェンダーを褒めていて、デザインだけじゃなく、技術的な部分もなかなかいいみたい。

フェンダーから繋がるサイドステップの部分だったり、他にも細かく見ていくと、正直、惜しい部分もある。けど、そういう所を一つ一つ潰していけば、間違いなく、もっともっとカッコ良くなる。頑張って完成度を高めて、そして、有名オーナーになって欲しいなあ。

「ありがとうございます。これから兄弟2人で頑張っていくので、どうぞよろしくお願いします!」



会場は滝桜駐車場。周りに緑に囲まれたのどかな雰囲気。全国から数百台が大集結。セダン・ワゴン・軽のオールジャンルでしたが、特にセダンが多かった。「時折、雨も降りましたが、オーナーたちはとても楽しそうでしたよ。」

今回の桜杯では、僕が大好きな14マジエスタにも出会えました。このクルマって、実は27歳の女性がオーナーなんです。シビれるでしょ。今日は本人はお仕事で、代わりにお父さんが乗って来たそうです。

「独自の感性をカタチにした18&30系」と

「これは娘と一緒にやろう!」って言ったのがきっかけで、作ったクルマなんです」とお父さん。

しかも、全然知らなかったんですけど、18年前に僕と佐藤サン親子は出会っていたそう。

「Kプレイクを立ち上げたばかりの時、幼い娘(当時9歳)と一緒に赤マジエを見学して、ステッカーも買ったんです。その時に大林サンと一緒に写真も撮って貰ったんですよ。それ以来、娘も大林サンの大ファンになって。そして、このクルマは3年間かけて作ったんです。完成したら絶対に大林サンに見て貰って、また写真も撮って貰おう」と、娘と話していたんです。

去年、それが実現して、3人で写真も撮ったんですよ。その時に撮影した、この14マジエの写真をインスタにアップしたんですけど、

「いいね」の数が凄かった。僕が普段あげている写真よりも(笑)。

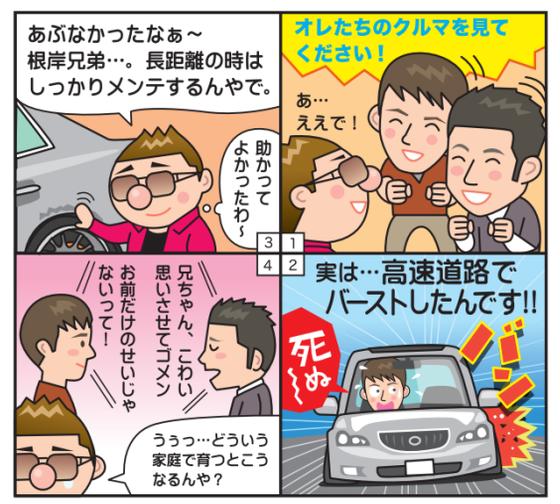
僕にとってはエピソードもめちゃめちゃ嬉しいんですけど、今の時代に、こんなにキレイでカッコイイ14マジエを見られるっていうのも凄く嬉しい。たぶん、それはみんなも同じで、だから、「いいね」の数が半端じゃなかったんだらうなと思って。バンパーはエボV3。僕の赤マジエもそうだったんですけど、リップを軽く延長して、これもツボだし。フェンダーの作りもキレイで、チリもパンシと合っていて、文句の付けようがない。しかも、ホイールはファイブスタ。カッコイイ14マジエにファイブスタを履かせてくれた、ホンマにありがたいです。

次は内装に挑戦予定とのことですが、娘さんと二人三脚で、14マジエをカッコ良くしてくださいね。

投稿募集中

「僕もKプレイクの大林サンに愛車を評価して欲しい!」と思った方は、ぜひ編集部まで写真とアンケートを郵送してください。大林サンが愛情をたっぷり添えて、キミのクルマを全国の人に紹介してくれますよ。

「根岸兄弟はいい子」の巻



キラキラと目を輝かせながら話をしてくれた根岸兄弟。しかし、道中は兄のマジエのタイヤがバーストして、「死にそうになりました」という大ハプニングが。渾身のオバフェンも負傷し、さぞかし作り手の弟はご立腹かと思いきや……。『自分はメンテ担当でもあるので、逆に申し訳ない気持ちでいっぱいです』って。最近の若者とは思えない回答。どうい家庭環境で育つと、こんないい子になるの(笑)。



福島県 / 佐藤 麻衣 (27歳)



何よりもキレイさがピカイチな14マジエスタ。イジリは当時風で、エアロパーツは横かしのエボリューションV3。フロントはリップを延長し、サイドにはダクトを追加している。旧車意識でオイルクーラーも設置。ちなみに、ダミーではないのも自慢。ホイールは一目惚れしたKプレイクのファイブスタで、抜群の似合い度。ボディカラーはキャンディパール。120φ4本出しの露ね上げマフラーも、この14マジエにピッタリとマッチ。